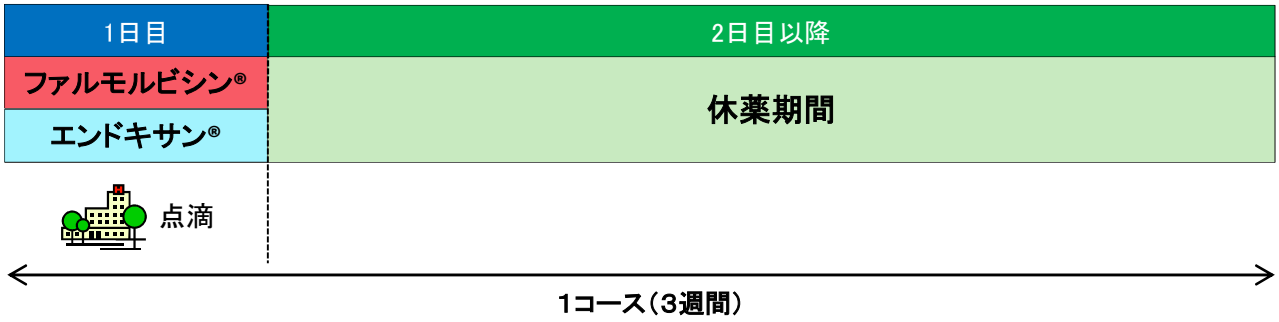
2014.12作成

EC 療法を受けられる方へ

EC療法とは、ファルモルビシン®とエンドキサン®の2剤を組み合わせた乳癌に対する治療法です。

投与スケジュール



3週間を1コースとして、通常4コース繰り返します。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※　個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●血管痛・静脈炎　●吐き気・嘔吐　●食欲不振
数日～数週間	●白血球減少　●口内炎　●脱毛　●倦怠感　●便秘 ●血小板減少
数週間～数ヵ月	●貧血（めまい）

◇ 吐き気・嘔吐・食欲不振

投与直後から起きる吐き気と、投与数日経ってから起きる吐き気があります。一般的には1週間ほどで落ち着きますが、嘔吐が続いたり、ほとんど食事が取れない状態になった場合は連絡してください。
なるべく水分を取るようにし、消化のよいものや食べたいものを少量ずつ食べましょう。

◇ 血管痛・静脈炎

点滴中および投与後に、注射部位が痛んだり腫れてきた場合はすぐにご連絡ください。

◇ 脱毛

投与後2～3週間後に抜け始め、頭髪、眉毛など全身の体毛に起こります。しかし治療が終われば、また生えてきます。
頭皮への刺激はできるだけ避けましょう。
かつらやバンダナなどの使用をお勧めします。

◇ 赤色尿

投与後は尿がピンク・オレンジ・赤色になりますが、問題ありません。

◇ 白血球減少：発熱、寒気、咳、のどの痛み、頭痛

白血球の数が減ると体の抵抗力が落ち、風邪などの感染症にかかりやすくなります。
38℃以上の発熱がみられた場合は、すぐに受診してください。
外出時はマスクを着用し、人ごみを避けましょう。
手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇ 貧血：めまい・息切れ・倦怠感

赤血球が減少すると、めまいや立ちくらみを起こすことがあります。
急激な動作は控え、疲れを感じたら、あまり無理をせず、こまめに休むようにしましょう。

◇ 血小板減少：血が出やすい、アザができる

血小板は血液を固める働きがあるため、減少すると血が止まりにくくなります。
ケガや転倒、打撲には十分注意し、歯を磨くときや鼻をかむときは優しく行いましょう。

文責：岐阜市民病院薬剤部　TEL：058-251-1101